

ひろがれ！
みらいの
農ホホ水

有限会社
土佐佐賀産直出荷組合
(高知県 幡多郡 黒潮町)



あたしらの知恵で、漁師町を何とかするちや。

地元の魚をつかった加工食品の開発・生産を行う、土佐佐賀産直出荷組合。その社員のほとんどは、主婦や母親でもある女性たちだ。「売り物にならんこの魚、何とかならんか？」という漁師の悩みを何とかしたい。そんな想いで、さまざまな加工食品を開発してきたと語る濱町社長。そのひとつが、全国区になった「ぎがなごハレ」だ。完成まで約5年。商品の詰め方から、数ミリ単位で検証したラベルの位置まで、主婦や母親ならではの目線で、社員全員で試行錯誤を重ねたという。「でも、子どもが熱を出したりした時は気兼ねなく休めますよ」と語るのは社員のYK中さん。女性が働きやすい会社は、女性が休めますい会社。そんな濱町社長の考えがしっかりと息づいている。今後は、みらい基金の助成金で冷凍設備を新設。漁師の要望にあわせた柔軟な仕入れを可能にしていく。地元をもう一度元気にしたい。大人から子どもまで、明るい声が飛び交う風景を再び戻したい。新商品開発や情報発信の拠点にしていく予定だ。地元をもう一度元気にしたい。大人から子どもまで、明るい声が飛び交う風景を再び戻したい。と意気込む濱町社長。女性のかで漁師町に活気が戻る日は、そう遠くはなさそうだ。

農林水産業みらい基金は、助成金を通じて、土佐佐賀産直出荷組合の冷凍加工設備の整備や人材育成をサポートしている。



一般社団法人
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA(農業協同組合)・JF(漁業協同組合)・JForest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraikikin.org/) 検索
<http://www.miraikikin.org/>

